

「第181回 防災まちづくり談義の会」

現地会場 参加 (要申込下記参照) +ZOOM オンライン参加

神奈川県大地の誕生と自然災害の理解

～関東大震災百年を前に理解したい神奈川県の大地誕生物語と巨大地震・噴火の真相～

講師：防災塾・だるま 副塾長 元小学校校長 鷲山龍太郎氏

第1部：基調講演 13:30～14:30 「神奈川県大地の誕生と自然災害の理解」

第2部：通常総会 14:45～15:45

第3部 2021年度防災サロン始動

会場：横浜市青少年育成センター 第一研修室（関内ホール 地下2階）

住所：横浜市中区住吉町 4-42-1・・・下記の案内図を参照



神奈川県は「地球の裂け目」とも言える場所に位置し、そこにフィリピン海プレートが火山島群を乗せて突入しているという、激しい地殻変動の現場です。関東大震災100年を前に、海溝型の巨大地震が都市の真下で起きた震源の広大さとその真相を正しく理解したい。郷土の生立ちと災害リスクを理解できる地学教育と教材開発を実践してきた講師が豊富な映像資料で神奈川の大地誕生を再現する。



横浜市戸塚区箱根巨大火砕流地層にて

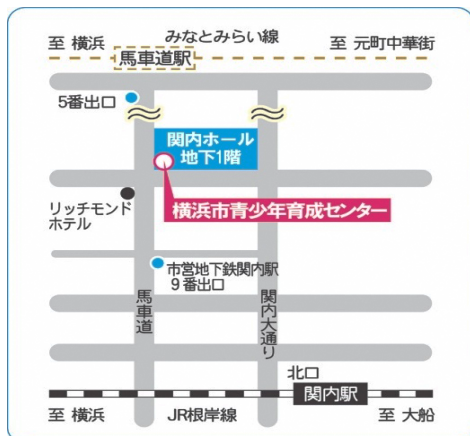


神奈川県大地誕生の物語

- ・神奈川県大地の誕生は、1700万年前、南海の海底噴火から始まった。
- ・丹沢のアオサンゴ化石が語る、丹沢、伊豆半島の衝突。
- ・関東地震は、丹沢から房総沖に至るプレート境界が神奈川直下で動く。
- ・6万5千年前、箱根の巨大噴火で神奈川県埋没！火砕流は横浜にも。
- ・富士箱根の火山灰が偏西風で神奈川県を直撃する。
- ・横浜の土地はなぜ凸凹なのか？流水実験で再現する神奈川・横浜の姿。
- ・氷河期と温暖期の海面変動が生み出した沖積低地は地震動を増幅。



有史以来の神奈川県付近の地震震源域地質調査所「活構造図」を元に講師がトレース、アニメ化



- ★公開講座：先着30名(要申込)
- ★参加費：無料(要資料代100円)
- ★会場：横浜市青少年育成センター 第一研修室 (関内ホール 地下2階)
- ★参加申込受付：☎ 090-5504-9812 Fax: 045-471-9923 (早川)

主催「防災塾・だるま」

<http://darumajin.sakura.ne.jp>



JR根岸線「関内駅」下車徒歩7分
横浜市営地下鉄(ブルーライン)「関内駅」下車徒歩5分
みなとみらい線「馬車道」下車徒歩5分

【 講師：鷺山龍太郎氏 】

元小学校長 神奈川地学会幹事 防災士 防災塾・だるま副塾長

小学校の教員として、阪神淡路大震災の惨状が地学教育の未熟性にあるとの課題意識から、横浜における地学教材の開発、展開、授業研究を推進。作成した代表的地学教材ビデオ「丹沢の化石サンゴ礁」は全国賞を受け、研究者からも高い評価を受ける。東日本大震災以降は小学校長として、地域、保護者と学校が連携した防災まちづくりを推進。校長を務めた太尾小学校は、今年2月「防災まちづくり大賞 総務大臣賞」（調査書執筆）を受賞した。

4 参加方法

(1) 現地会場参加 新型コロナウイルス感染症対策のため 41 名の人数制限があります。

(先着順) 会員+招待者とします。ご希望の方は早川かメールまで電話で申し込み。

👉 会場参加希望のメールアドレスと電話番号は、4月17日に送付した会員宛メールにあります

(2) ZOOM での参加方法 4月17日に送付した会員宛メールに ZOOM アドレスがあります。

(3) 会員の方は、この談義の会に参加して欲しいお知り合いの方をご招待いただくことができます。
ただし、ズームアドレスの SNS 等による拡散はしないようにしてください。

(4) 会員以外の方で、参加ご希望の方は、必要事項をご記入の上、次のメールアドレス(手入力)にメールを送信してください。 ・氏名 ・年齢 ・所属 ・受講ご希望の理由
申込方法 Google フォームから 📩 <https://forms.gle/DVzfAea4pzi8Yuqc6>

5 第二部 (1) 2021年度「防災塾・だるま」定例会

14:45~15:15

(2) 防災サロン

15:30~16:30

📍 防災サロンの参加方法

○会場からでも、リモートでも参加できるようにします。

○リモート参加は、分科会形式の「ブレイクアウトルーム」にご案内しますので、A,B,C,D いずれかのサロンを選択して、仲間に入ってください。

「防災塾・だるま」の活動・情報・活動計画等は HP をご覧ください。